

# アジア国際社会福祉研究所 kara

No.46 2022.10.4.

編集・発行責任者 戸塚 法子

## 御報告: ビジティング・リサーチャー祝賀講演会 プログラム開始後、初めて一堂に会しました！

9月22日に、ビジティング・リサーチャー(VR)論博プログラム(奨学金付き)を通じて、淑徳大学大学院総合福祉研究科にて博士号(社会福祉学)を取得された3名の修了生の先生方を招聘し、祝賀講演会等<sup>1</sup>を開催しました。すべての関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

本プログラム開始後6年が経過しましたが、このような形で修了生が一堂に会するのは初めてのことでした。また、会場にて弊学大学院生を含む25名程度が、遠隔にて国内外から10名程度が参加しました。

弊所の戸塚法子所長の開会挨拶後、本学大学院の米村美奈総合福祉研究科長と第1期VRワンディ・ポンポクシン博士(タマサート大学、タイ)<sup>2</sup>が祝辞を述べました。その後の講演では、第2期VRデチェン・ドマ博士(ブータン王立大学)<sup>3</sup>と、第4期VRオマルペ・ソマナンダ師・博士(スリランカ佛教パーリ語大学)<sup>4</sup>が登壇しました。いずれのVR修了生も、博士号を取得するまでの過程とその意義、研究活動にかかわっていただいた方々への感謝、現在の教育研究活動への還元状況、今後の教育研究や連携・交流の抱負等について語っていました。

今回の祝賀講演会を通じて、改めて本プログラムのインパクトと発展可能性、ネットワークの構築の意義が強く感じられました。引き続き、アジア圏域を中心としたソーシャルワーク教育機関の期待とニーズに応えるべく、学内外の皆様方のお力添えをいただきながら貢献してまいります。



◆アジア国際社会福祉研究所のニュースは当研究所のホームページよりご覧いただけます。

<https://www.shukutoku.ac.jp/university/facilities/asiancenter/>

◆淑徳大学内ではSナビにて月1回程度配布されます。

<sup>1</sup> 祝賀講演会に先立ち、同日午前中に本学内の学位記授与式にて、山口光治学長より学位記が修了生に授与されました。

<sup>2</sup> 博論題目「タイにおけるミャンマー非熟練移住労働者のソーシャル・ウェルビーイング：バンコク首都圏データに基づく研究」 (<http://id.nii.ac.jp/1544/00001768/>)

<sup>3</sup> 博論題目「ブータンの青年の薬物乱用に対する仏教的・西洋的アプローチの接合(接点)にて：機関による実践及びその効果に対するクライアントの理解の比較を踏まえて」 (<http://id.nii.ac.jp/1544/00002047/>)

<sup>4</sup> 博論題目「仏教ソーシャルワーク教育開発のための仏教協議の適用可能性に関する分析調査」 (<http://id.nii.ac.jp/1544/00002048/>)